

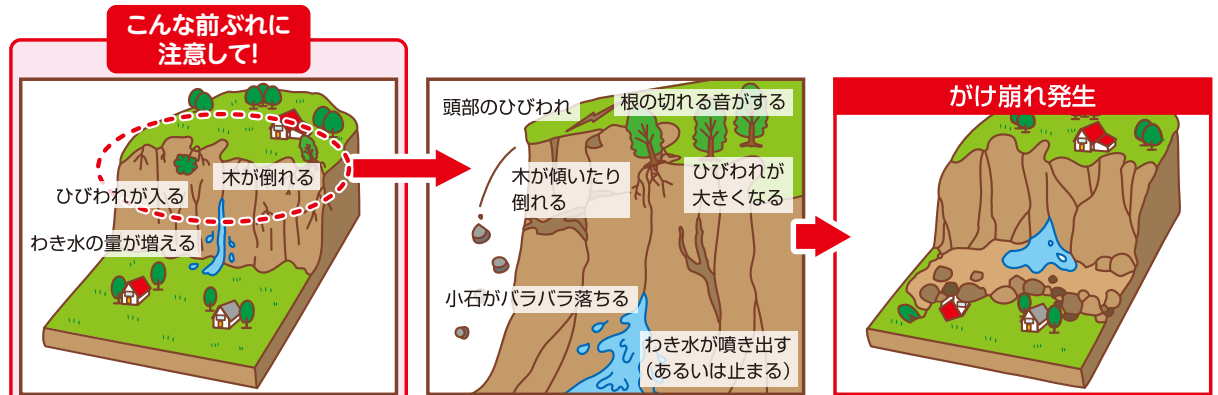
土砂災害

大雨や台風、地震が起きたときには、土砂災害が発生する可能性があります。自分や家族を守るためには、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象がありますので、前兆現象を確認したら速やかに避難しましょう。

土砂災害の種類

がけ崩れ

地面にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、被害者の割合も高くなっています。



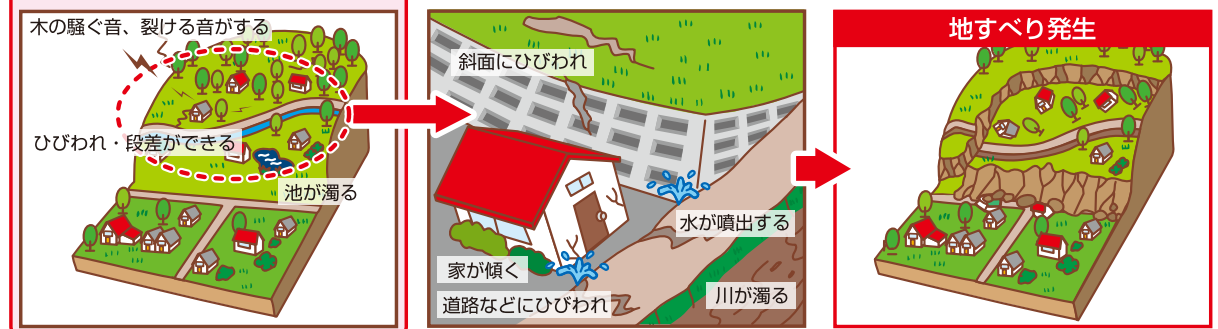
土石流

山腹・谷底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されることをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20~40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。



地すべり

斜面の一部あるいは全部が、地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また一旦動き出すと、これを完全に停止させることは非常に困難です。



※上記は一般的な前兆現象です。すべての場合において必ず起きるというものではありません。少しでも身に危険を感じたら早めに避難しましょう。

土砂災害警戒区域

佐賀県ではがけ崩れや土石流などの土砂災害から県民の命を守るため、土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域を指定しています。土砂災害のおそれがある区域をハザードマップで確認し、自宅の近くに危険な場所があるかどうか調べてみましょう。

土砂災害 特別警戒区域(レッドゾーン)

土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命または身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

土砂災害 警戒区域(イエローゾーン)

土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域

